

日本：株価が大幅下落、日経平均株価は一時900円超安

- 30日に日経平均株価が一時900円以上下落
- 日本の10年国債利回りは約13年ぶりの水準に上昇
- 予想PERで判断すると日本株の割高感は強くない

■ 日経平均株価が一時900円以上下落

5月30日の東京株式相場は3日続落し、日経平均株価は一時900円以上下落する場面がありました（図1）。国内外金利の上昇が警戒され、リスク資産の持ち高を減らす動きが強まったことが要因と考えられます。半導体関連を中心に電機株など輸出関連、商社や鉱業、非鉄金属株などの資源関連など、幅広い業種が下落しました。終値は日経平均株価が前日比502.74円安（▲1.30%）の38,054.13円、TOPIXが同15.42pt安（▲0.56%）の2,726.20となりました。TOPIXを構成する2140銘柄中、下落は827、上昇は1219。業種別では電機機器、輸送用機器、卸売、鉱業、非鉄金属、電気・ガス、石油・石炭製品などの下落が目立ちました。半面、金利高が収益にプラスに働く銀行株は堅調で、パルプ・紙や倉庫も上昇しました。

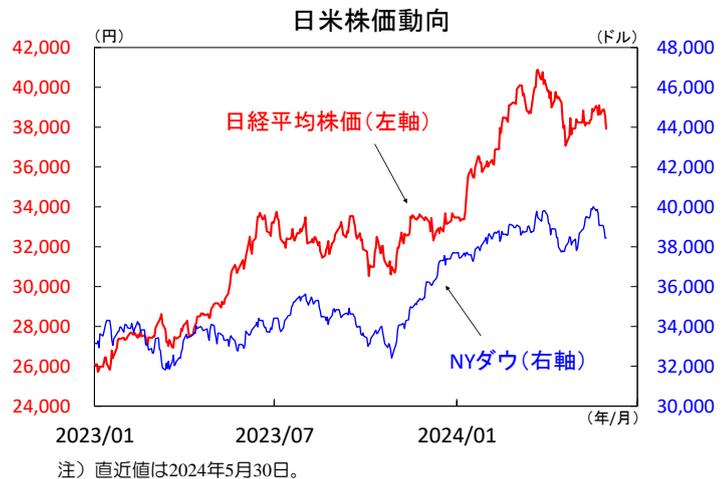
■ 日米で長期金利上昇

29日に米国で発表された地区連銀経済報告（ページブック）がインフレの根強さを指摘したことで利下げ観測が後退し、米長期金利は4.6%台と約1カ月ぶりの高水準に上昇していました（図2）。日本でも海外市場での金利上昇の流れや、日本銀行が早期に国債買い入れ減額や追加利上げを行うことへの警戒感から、10年債利回りは一時1.1%と2011年7月以来の水準に上昇しました。金利上昇は投資家資金の債券へのシフトを促すほか、企業の長期借入れコストの上昇につながるため、業績悪化を通じて株価への悪影響が懸念されています。

■ 予想PERは日米で大きく乖離

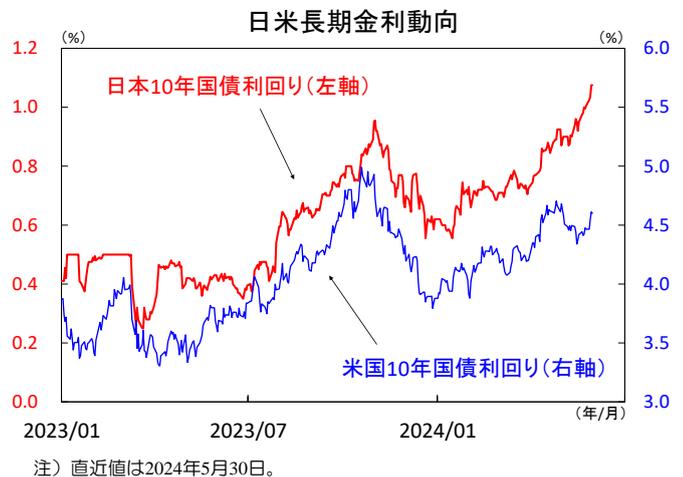
日米株を予想PERで比較すると、米S&P500の20倍超に比べ、TOPIXは14倍程度と低い水準で推移しています（図3）。株式益回りから10年国債利回りを引いて求めるイールドスプレッドは、米S&P500がゼロ%に接近しているのに対して、TOPIXは5%超と依然高水準であり、金利水準との比較でバリュエーションを見た場合でも、日本株の割高感は強くないと考えています。日本株の予想PERは比較的安定しているため、2024年度の東証上場企業の増収増益が予想される中、今後も予想利益（EPS）に連動して日本株は上昇するとみています。（向吉）

【図1】日米株ともに上値の重い動き



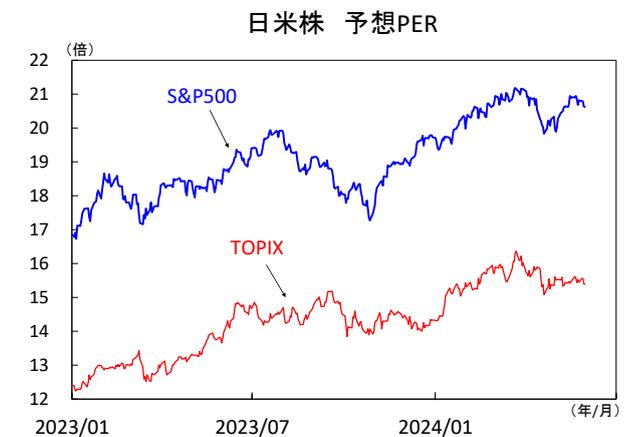
出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図2】長期金利は上昇基調



出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図3】日本株の割高感は強くないと考えられる



注) 直近値は2024年5月29日。12カ月先予想PERを使用。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
TOPIX（東証株価指数）に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会